

# ホテル三日月2館取得へ

## HMI 勝浦と鴨川改修も検討

全国で宿泊事業を手掛けるホテルマネージメントインターナショナル（HMI、東京・中央）は30日、「勝浦スパホテル三日月」（千葉県勝浦市）と「鴨川スパホテル三日月」（同県鴨川市）を取得することでホテル三日月グループ（勝浦市）と合意に達したと発表した。両施設は新型コロナウイルスの影響で宿泊者数の減少が続くが、収束後は収益が見込めると判断。老朽化した施設の改修へ大型投資も検討するという。

## コロナ後の収益源に

2022年3月1日付で、ホテル三日月グループから経営権を取得する。金額は非公表。HMIは勝浦、鴨川とも距離の近い南房総市内で宿泊施設を運営していることから、今後は経営面での

相乗効果も期待できるといっ。地域での知名度も高いことなどから、取得後も「三日月」の名称は残す方向で、社員の雇用も維持する。申し込み済みの宿泊や宴会は維持するほ

か、今後のホームページや旅行代理店を通じた予約受付も滞りなくできるようにするという。

一方、ホテル三日月によると、両施設は新型コロナ以降の長引く宿泊者数の減少が続き経営環

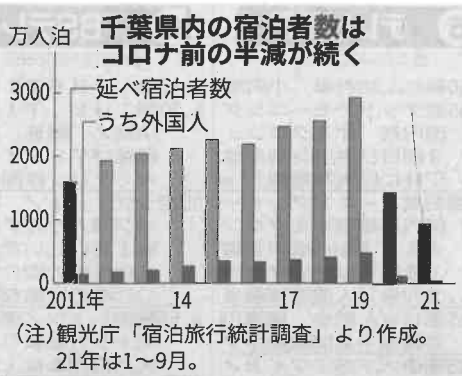
境が悪化していた。譲渡後は木更津市内の「竜宮城スパホテル三日月」やベトナムで開業した宿泊施設などに投資を回すことで、業績の回復や成長に向けた足がかりとする計画という。

両施設は1961年に開業した地域有数の大型ホテルで、いずれも約170室。太平洋が望める

客室や大浴場が売り物で、ファミリー層を中心に人気が高かった。勝浦のホテルは新型コロナが国内で拡大する前の20年1月、中国・武漢からチャーター便で帰国しながら収容先が決まらなかったた邦人を一時受け入れたことで、注目を集めた。

つた前年同期を下回り、コロナ前の19年の同時期に比べると半分以下の水準が続く。こうした経営環境を背景に、県内の宿泊施設で

は、売却や廃業といった動きが広がっている。アル千葉中央駅前」を開業した。木更津の「ロイヤルヒルズ木更津ビューホテル」は1月に営業を終了した。



ホテル三日月グループの勝浦スパホテル三日月（千葉県勝浦市）

2021.12.1 朝日新聞

## ホテル三日月 2施設譲渡へ

ホテル三日月グループ（勝浦市）が運営する「勝浦スパホテル三日月」と「鴨川スパホテル三日月」の経営権を来年3月、ホテルマネージメントインターナショナル社（東京）が取得することが30日、発表された。新型コロナの影響で利用客が激減し、施設の老朽化や耐震改修などの資金を捻出することが難しくなったためだといっ。

両ホテルは房総地域を代表するホテル。三日月グループによると、コロナ禍で利用客が激減。ベトナムでの新ホテルの開業も延期になり、事業

## 来年3月 勝浦・鴨川 東京の会社に

譲渡に踏み切った。同グループには「龍宮城スパホテル三日月」（木更津市）や「日光きぬ川スパホテル三日月」（日光市）などがあり、今後はこれらに投資を集中させるという。

ホテルマネージメント社によると、2ホテルの従業員の雇用は維持し、地元に残された「三日月」の名前も受け継ぐといっ。同社は経営難のホテルや旅館などの事業を引き継いだ実績がある。コロナ後の需要回復をにらみ、両ホテルに新たな投資を図るといっ。

（三嶋伸一）